

NY マーケットレポート (2015 年 4 月 15 日)

NY 市場では、序盤に発表された NY 連銀指数が予想外のマイナスとなったことや、米鉱工業生産が 2012 年 8 月以来 2 年 7 ヶ月ぶりの大きな下落率となったことを受けて、FRB の利上げ時期が後退するとの見方が広がり、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。一方、ユーロはドラギ ECB 総裁の定例会見を控えて様子見ムードも強く、序盤は小動きの展開となった。そして、ユーロ圏に景気回復の兆候が出ていることから、資産買い入れを縮小するとの観測も浮上し、ユーロは堅調な動きとなる場面もあった。しかし、総裁が量的緩和を来年 9 月まで完全実施すると発言したことで、下落する場面もあった。なお、会見開始直後、ドラギ総裁に抗議するため、女性が叫びながら総裁に詰め寄ったため取り押さえられ、会見が一時中断される場面もあった。

2015/4/15 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	119.50	119.75	119.35
EUR/JPY	126.73	127.48	126.70
GBP/JPY	176.03	176.67	176.00
AUD/JPY	90.65	91.33	90.62
EUR/USD	1.0605	1.0664	1.0602

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	119.61	119.35
EUR/JPY	126.82	126.34
GBP/JPY	176.47	175.71
AUD/JPY	90.83	90.48
EUR/USD	1.0615	1.0571

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19869.76	-38.92
ハンセン指数	27618.82	+57.33
上海総合	4084.16	-51.40
韓国総合指数	2119.96	+8.24
豪ASX200	5908.42	-38.13
インドSENSEX指数	28799.69	-244.75
シンガポールST指数	3539.95	+18.87

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7096.78	+21.52
仏CAC40	5254.35	+36.29
独DAX	12231.34	+3.74
ST欧州600	414.06	+2.36
西IBX35指数	1178.40	+73.70
伊FTSE MIB指数	24030.54	+277.63
南ア 全株指数	53720.57	+409.11

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	119.15	119.64	118.80
EUR/JPY	127.31	127.33	126.28
GBP/JPY	176.78	176.96	176.02
AUD/JPY	91.46	91.51	90.68
NZD/JPY	90.49	90.54	89.65
EUR/USD	1.0686	1.0702	1.0577
AUD/USD	0.7677	0.7701	0.7580

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18112.61	+75.91
S&P500	2106.63	+10.79
NASDAQ	5011.02	+33.73
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15450.87	+61.59
ロシアモスクワ指数	45262.94	+258.42
ブラジルボバ指数	54918.74	+936.82

4/16 経済指標スケジュール

08:01 【英】3月RICS住宅価格
10:00 【豪】4月消費者インフレ期待
10:00 【豪】4月ANZ消費者信頼感指数
10:30 【豪】3月新車販売台数
10:30 【豪】3月失業率
10:30 【豪】3月雇用者数
10:30 【豪】3月労働参加率
13:00 【日】3月首都圏新規マンション発売
15:00 【日】3月工作機械受注
16:15 【スイス】3月生産者輸入価格
21:30 【米】3月新規失業保険申請件数
21:30 【米】3月失業保険継続受給者数
21:30 【米】3月住宅着工件数
21:30 【米】3月建設許可件数
23:00 【米】4月フィラデルフィア連銀景況指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1201.30	+8.70
NY 原油	56.39	+3.10
CMEコーン	383.00	+2.00
CBOT 大豆	967.75	+3.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.50%	0.51%
3年債	0.84%	0.86%
5年債	1.32%	1.34%
7年債	1.65%	1.67%
10年債	1.89%	1.90%
30年債	2.54%	2.54%

4/16 主要会議・講演・その他予定

- ・G20財務相・中央銀行総裁会議 ～17日
- ・アトランタ、ボストン連銀総裁 講演
- ・フィッシャーFRB副議長 講演

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

欧州市場

20 : 45

≪ 経済指標の結果 ≫

欧州中銀 政策金利発表 0.05% (予想 0.05%・前回 0.05%)

中銀預金金利 -0.20% (予想 -0.20%・前回 -0.20%)

限界貸出金利 0.30% (予想 0.30%・前回 0.30%)



(出所:ブルームバーグ)

21:00

ドル/円 119.55 ユーロ/円 126.51 ユーロ/ドル 1.0583

21:00

欧州株式市場

米主要株	株価	前日比
英 FT100	7104.81	+29.55
仏 CAC40	5256.79	+38.73
独 DAX	12285.75	+58.15

(出所:SBILM)

21 : 00

《 経済指標の結果 》

3 月ポーランド消費者物価指数(前月比) 0.2% (予想 0.3%・前回 -0.1%)

3 月ポーランド消費者物価指数(前年比) -1.5% (予想 -1.3%・前回 -1.6%)



21 : 30

《 経済指標の結果 》

4 月ニューヨーク連銀製造業景気指数 -1.19 (予想 7.17・前回 6.90)



経済指標データ

《NY連銀製造業景気指数》

現状)

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
業況	-1.19	6.90	7.78	9.95	-1.23	10.33
仕入価格	19.15	12.37	14.61	12.63	10.42	10.64
販売価格	4.26	8.25	3.37	12.63	6.25	0.00
新規受注	-6.00	-2.39	1.22	6.09	0.39	9.12
出荷	15.23	7.93	14.12	29.59	2.55	10.61
在庫	2.13	-5.15	-2.25	-7.37	-11.46	0.00
雇用者数	9.57	18.56	10.11	3.68	8.33	8.51

6ヵ月先の見通し)

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
業況	37.06	30.96	25.58	48.35	39.31	46.84
仕入価格	38.30	31.96	26.97	33.68	40.63	41.49
販売価格	13.83	12.37	5.62	15.79	32.29	25.53
新規受注	33.57	26.31	28.61	41.44	38.85	47.69
出荷	32.38	28.71	30.34	40.57	37.75	44.78
在庫	5.32	-3.09	-4.49	1.05	9.38	4.26
雇用者数	22.34	28.87	24.72	31.58	20.83	24.47

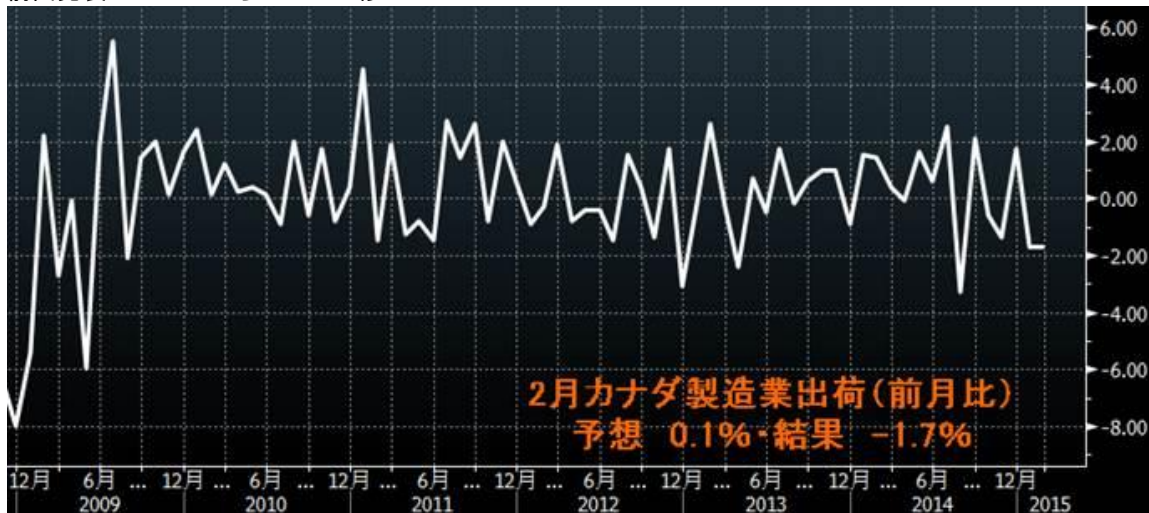
同指標はゼロが景況の分岐を示す

21:30

《経済指標の結果》

2月カナダ製造業出荷(前月比) -1.7%(予想 0.1%・前回 -3.0%)

前回発表の-1.7%から-3.0%に修正



(出所:ブルームバーグ)

21:40

《要人発言》

ドラギECB 総裁

- ・「インフレ率の持続的調整が見られるまで QE 続ける方針」
- ・「経済の勢いは 14 年末から増したがリスクは下向きのまま」
- ・「ユーロ圏経済へのリスクはよりバランスが取れてきた」
- ・「インフレ率は向こう数カ月マイナス、年末にかけ上昇」
- ・「ECB 刺激策は、機能するためには完全な実施が必要」
- ・「ECB のギリシャへのエクスポージャー 1100 億ユーロ」
- ・「購入対象の債券が不足するとの懸念はちょっと大げさ」
- ・「債券が不足するとの懸念は時期尚早」

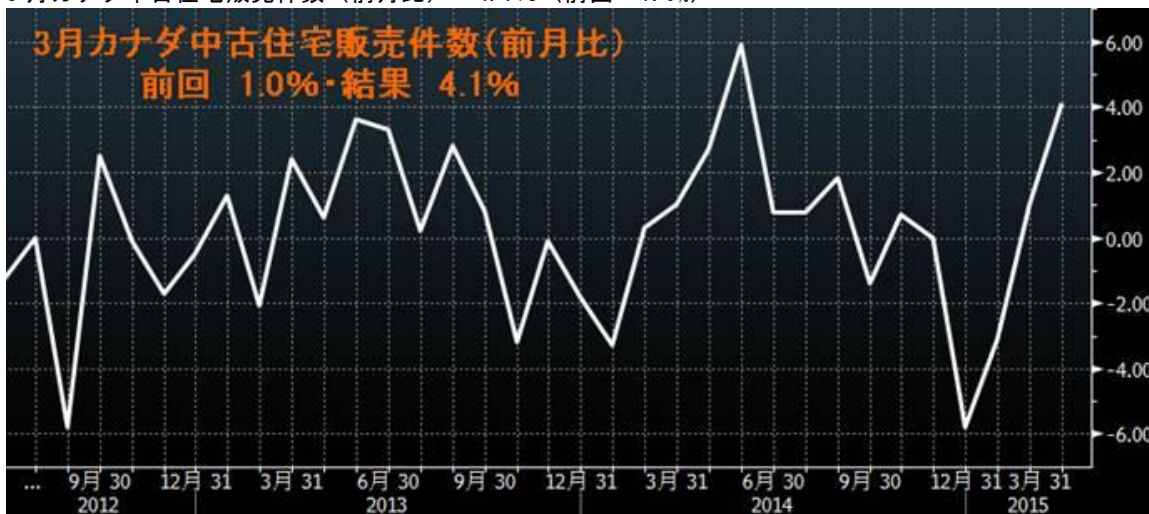
- ・「予想外のインフレ展開を ECB は重視しない」
- ・「QE 早期終了の可能性に向けられる注目に驚いている」
- ・「資産バブルのリスクを指摘、過剰なゼロ金利長期化で」
- ・「ギリシャがデフォルトするとの想定で物事考えたくない」

- ・「為替レートは政策目標ではない」
- ・「ECB は中銀預金金利を引き下げない」
- ・「為替動向のインフレ率への影響ははっきりしない」
- ・「過去のユーロ高の影響が遅れて発生－現在のユーロ安も」

22 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

3 月カナダ中古住宅販売件数（前月比） 4.1%（前回 1.0%）



（出所：ブルームバーグ）

22 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

3 月ポーランド財政執行状況（年初来） 36.2%（前回 24.6%）



（出所：ブルームバーグ）

22 : 00

IMF が半年次の世界金融安定報告を公表

- ・「世界的金融リスクが過去6カ月間に高まった」
- ・「リスクは新興市場、シャドーバンクに移行」
- ・「市場・流動性リスクが高まった」
- ・「ECBの量的緩和の効果最大化にはさらなる政策が必要」
- ・「世界のマクロ経済リスクには変化がない」
- ・「リスク選好は世界的に低下した」
- ・「原油下落の速度・規模によって多少の金融面の緊張も」

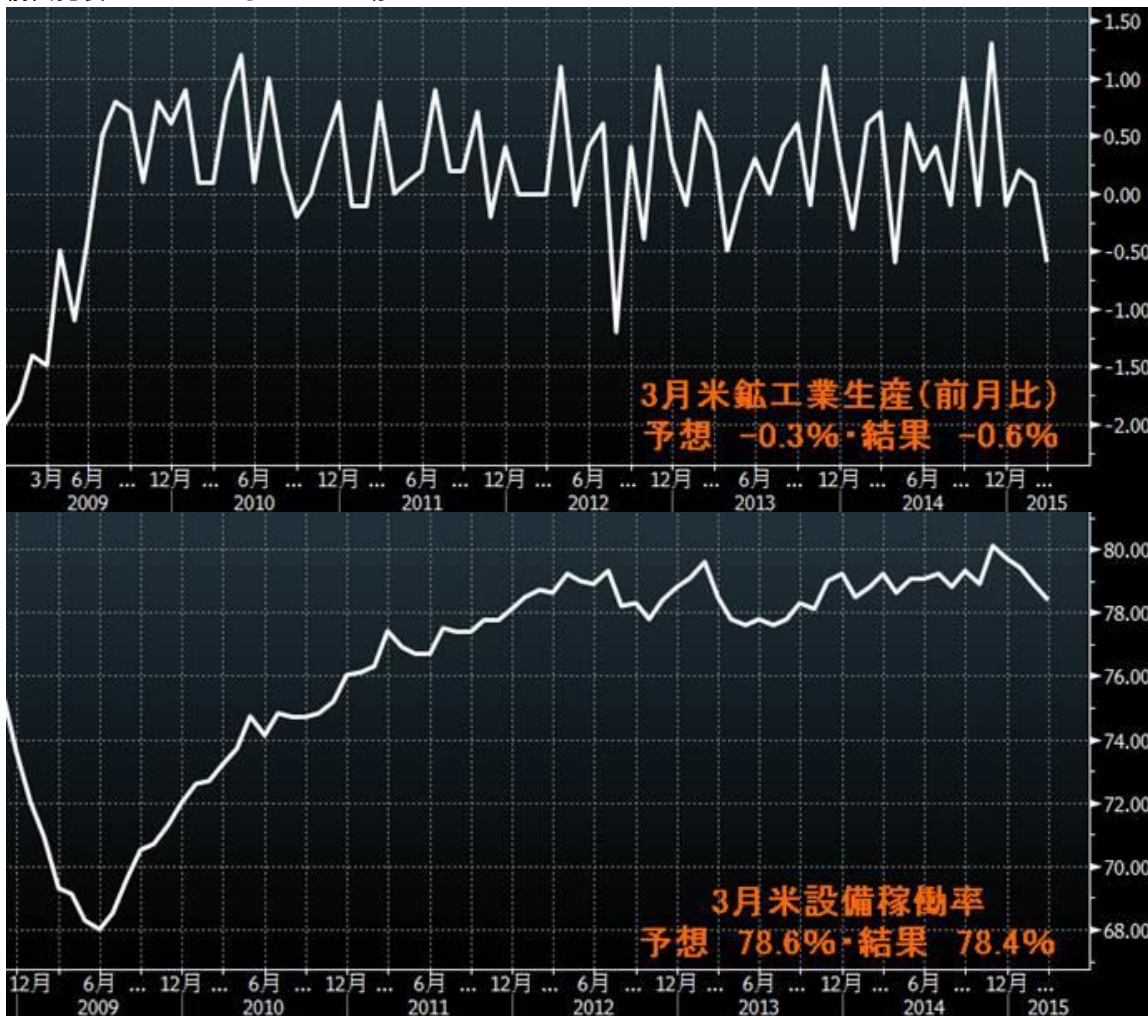
22 : 15

≪ 経済指標の結果 ≫

3月米鉱工業生産（前月比） -0.6%（予想 -0.3%・前回 0.1%）

3月米設備稼働率 78.4%（予想 78.6%・前回 78.4%）

前回発表の 78.9%から 78.4%に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米鉱工業生産・設備稼働率》

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
鉱工業生産	-0.6	0.1	-0.3	-0.2	1.2	-0.1
製造業	0.1	-0.2	-0.3	-0.1	1.2	0.1
鉱業	-0.7	-1.6	-1.7	2.4	-0.2	-1.1
最終製品	-0.6	0.3	-0.4	-0.7	1.8	0.0
原材料	-0.5	-0.1	-0.5	0.4	0.6	-0.2
設備稼働率	78.4	79.0	79.1	79.5	79.8	79.1
製造業	77.1	77.1	77.4	78.0	78.1	77.3
鉱業	84.4	85.4	87.2	88.9	87.5	88.4

22 : 45

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	18138.97	+102.27
ナスダック	4993.65	+16.36

(出所:SBILM)

23 : 00

《経済指標の結果》

4月米NAHB住宅市場指数 56 (予想 55・前回 52)

前回発表の53から52に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《NAHB住宅市場指数》

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
住宅市場指数	56	52	55	57	58	58
現状指数	61	58	61	62	62	62
見通し指数	64	59	60	60	64	66
顧客動向指数	41	37	39	44	46	45

23 : 00

《 経済指標の結果 》

カナダ政策金利発表 0.75% (予想 0.75%・前回 0.75%)



23 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・129 万バレル増加

ガソリン在庫・・・207 万バレル減少

留出油在庫・・・202 万バレル増加

23 : 35

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、前日引け後に発表された半導体大手の決算の内容が堅調だったことを好感して、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。また、米経済指標の結果が強弱まちまちとなったことで影響は限定的となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 110 ドル高まで上昇する動きとなった。

《 経済指標のポイント 》

(1) 4 月の NY 連銀製造業業況指数は、市場予想の+7.00 を大きく下回る-1.19 となり、3 ヶ月連続で低下し昨年 12 月以来ゼロを下回った。新規受注の落ち込みが影響した。当該指数は、ゼロが拡大と縮小の分岐点となる。新規受注は-6.00 (3 月は-2.39) と 2013 年 1 月以来の低水準、雇用者数は 9.57 (18.56)、販売価格は 4.26 (8.25) と前月から低下する一方、出荷は 15.23 (7.93)、在庫は 2.13 (-5.15)、半年先の業況見通しは 37.06 (30.72) と前月を上回る結果となった。

(2) 3 月の米鉱工業生産は、前月比-0.6%となり、2 ヶ月ぶりのマイナスとなり、2012 年 8 月以来 2 年 7 ヶ月ぶりの大きな下落率となった。暖房需要で前月まで大きく伸びていた電力・ガスが反動でマイナスとなったほか、原油・安で石油・ガスの掘削などが引き続き落ち込んだことから、鉱業が低下となり全体を押し下げる結果となった。製造業が+0.1 となり、主力の自動車・同部品が+3.2%と 4 ヶ月ぶりのプラスとなった。電力・ガスは-5.9%、鉱業は-0.7%となった。設備稼働率は、前月比 0.6 ポイント低下の 78.4%となり、昨年 1 月以来の低水準となった。

(3) 4 月の NAHB 米住宅市場指数は、市場予想を上回る 56 となり、1 月以来の高水準となり、業況感の改善と悪化の分岐点となる 50 を 2014 年 6 月以来上回って推移している。一戸建て販売の現況指数は 61 (前月 58)、購買見込み客足指数は 41 (37)、向こう 6 ヶ月の販売見通し指数は 64 (59) と 4 ヶ月ぶりの高水準となった。当該指数は、50 を上回ると住宅建設業者の多くが現況を「良い」とみていることを示す。地域別では、全米 4 地域中、3 地域で指数が上昇。特に、北東部の改善が大きかった。西部でも上昇したほか、南部では 5 ヶ月ぶりの高水準に達した。

0 : 30

IMF が 2015 年の財政モニター報告を発表

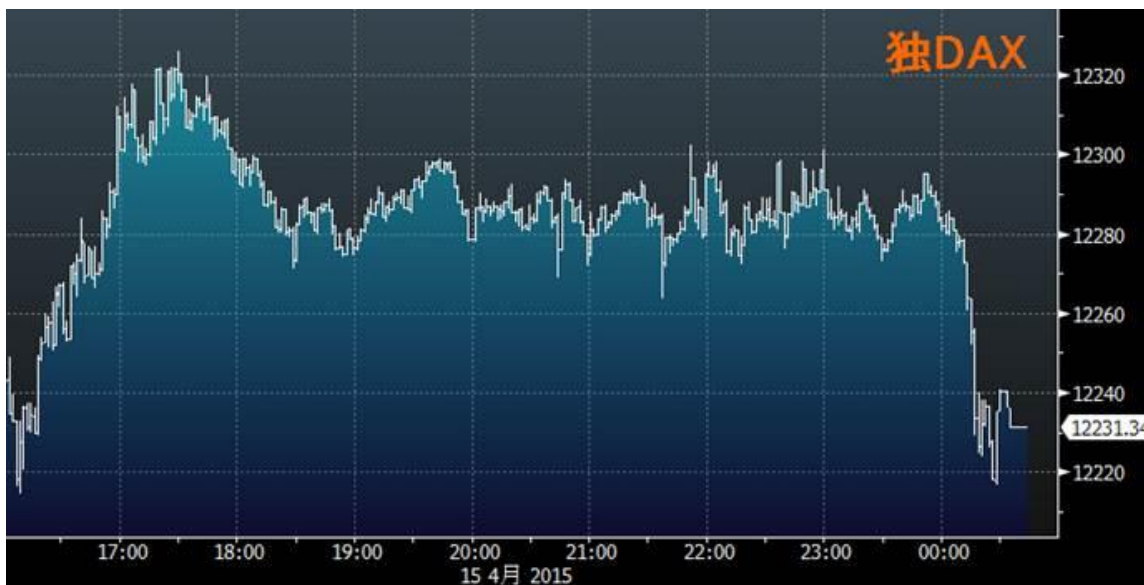
- ・「米国には税制改革、財政再建計画が必要」
- ・「原油安で石油輸入国の財政には GDP の 1% 相当の節減効果」
- ・「原油安で石油輸出国の財政に GDP の 4% 相当の損失」
- ・「低インフレ、高債務が先進国の脅威に」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	7096.78	+21.52
仏 CAC40	5254.35	+36.29
独 DAX	12231.34	+3.74
ストック欧州 600 指数	414.06	+2.36
ユーロファースト 300 指数	1650.15	+10.35
スペイン IBEX35 指数	11778.40	+73.70
イタリア FTSE MIB 指数	24030.54	+277.63
南ア アフリカ全株指数	53720.57	+409.11

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ECB の量的金融緩和への期待が投資家心理を支えた。主要株価は堅調な動きとなった。特に、英 FT100 は、取引時間中と終値の過去最高値を更新した。



(出所: ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 18101.06 (+64.36) 、S&P500 2104.61 (+8.77) ナスダック 5002.38 (+25.09)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、4 月のニューヨーク連銀製造業景況指数が市場の予想に反してマイナスに落ち込んだほか、3 月の鉱工業生産が予想以上に悪化したことから、FRB が超低金利を当面維持するとの見方が強まり買いが先行した。

午前の利回りは、30年債が2.53%（前日2.54%）、10年債が1.88%（1.90%）、7年債が1.64%（1.67%）、5年債が1.31%（1.34%）、3年債が0.84%（0.86%）、2年債が0.50%（0.51%）。

《欧州のポイント》

①スウェーデン政府の補正予算案で、今年の経済成長率予想を2.4%から2.6%に上方修正した。国内経済は回復しているが、見通しは海外ほど明るくないとしている。スウェーデン経済は輸出依存度が高く、政府は「経済成長の下振れリスクは依然大きい。ユーロ圏の景気低迷が最大のリスクだ」としている。補正予算は80億スウェーデンクローナ（9億1100万ドル）規模。福祉・教育の拡充や雇用創出を目指す。住宅建設向けの支援も拡大する。

②ギリシャの首相府相は、総選挙の前倒しを検討しているとの観測を否定した。同相は「（選挙は）2ヵ月前に行われた。われわれは委任を受けており責務を果たす。（新たな）選挙は必要ない。可能性を100%排除できる」と言明した。ギリシャのチブラス首相は、EUなどの債権者と改革案で合意できなければ総選挙に踏み切るとの観測が高まっている。

③EU統計局が発表した2月のユーロ圏貿易収支は、季節調整前で203億ユーロ（214億7000万ドル）の黒字となった。黒字額は、前年同月の144億ユーロから拡大したものの、市場予想の211億ユーロをやや下回った。輸出が+4%となる一方、輸入は横ばいだった。季節調整済みデータをみると、輸出は前月比+2.8%、輸入は+2.6%となった。

④フランス政府は、2016年と17年の構造的な財政赤字の削減幅について、EU欧州委員会が求める水準を下回るとの見通しを示した。経済成長を実現するためという。フランスは既にEUの財政規律達成を2年間先送りしており、同国とユーロ圏各国とのあつれきは一段と深まる可能性がある。欧州委員会はフランスに対し、構造的な財政赤字を2015年に対GDP比で0.5%、2016年に0.8%、2017年に0.9%それぞれ縮小するよう求めている。

⑤ECBは、ユーロ圏19カ国の金融政策を決める理事会で、主要政策金利を過去最低の0.05%に据え置いた。デフレ阻止を目的に始めた域内の国債を購入する量的緩和の効果も点検した。3月9日、国債を中心とした資産を月600ユーロ（約7兆6000億円）買い取る量的緩和を開始。3月は600億ユーロの目標を達成したと説明している。国債購入額は4月10日までの約5週間で616億ユーロ。国際機関などの債券も一部含まれている。

3:00

《 地区連銀景況報告 》

- ・「過半数の地区で小売売上高の増加が報告された」
- ・「賃金・物価の緩やかな上昇圧力に留意」
- ・「大半の地域で景気が拡大」
- ・「ドル高と原油安が影響した」

3:30

NY金は、中心限月が前日比8.70ドル高の1オンス＝1201.30ドルで取引を終了した。

4:20

NY原油は、中心限月が前日3.10ドル高の1バレル＝56.39ドルで取引を終了した。

5:00

《 経済指標の結果 》

2月対米証券投資[ネット長期TICフロー] 98億USD（前回 -274億USD）
前回発表の-272億USDから-274億USDに修正

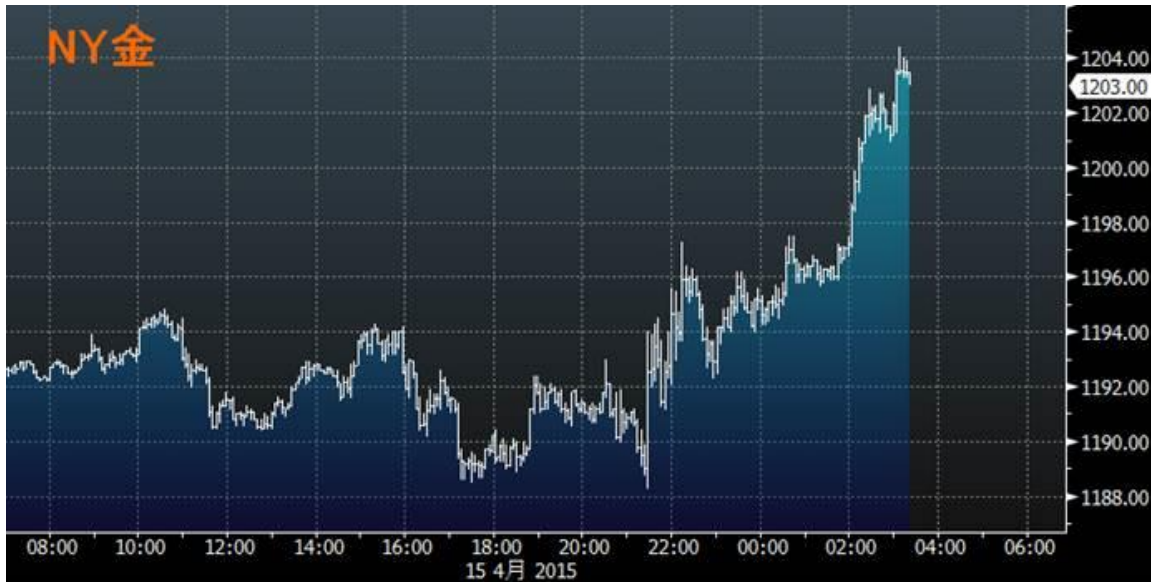
2月対米証券投資[ネットTICフロー] 41億USD（前回 883億USD）
前回発表の883億USDから510億USDに修正

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1201.30	+8.70
NY 原油	56.39	+3.10

（出所：SBILM）

《 NY 金市場 》

NY 金は、米鉱工業生産指数などの経済指標がさえない結果となったことや、ドルが主要通貨に対し下落したことから、ドル建てに割安感が広がって買いが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、米石油在庫統計で原油在庫の増加幅が市場予想を下回ったことから供給過剰への懸念が後退し、買いが膨らんだ。IEA（国際エネルギー機関）が月報で 2015 年の世界の石油需要見通しを引き上げたことも買い材料となった。終値としては昨年 12 月下旬以来、約 4 カ月ぶりの高値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	18112.61	+75.91	18160.52	18045.71
S&P500 種	2106.63	+10.79	2111.91	2097.82
ナスダック	5011.02	+33.73	5021.19	4989.24

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、前日引け後に発表された半導体大手の決算の内容が堅調だったことを好感して、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。また、米経済指標が予想を下回る結果となったものの、影響は限定的だった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で123ドル高まで上昇する場面もあった。



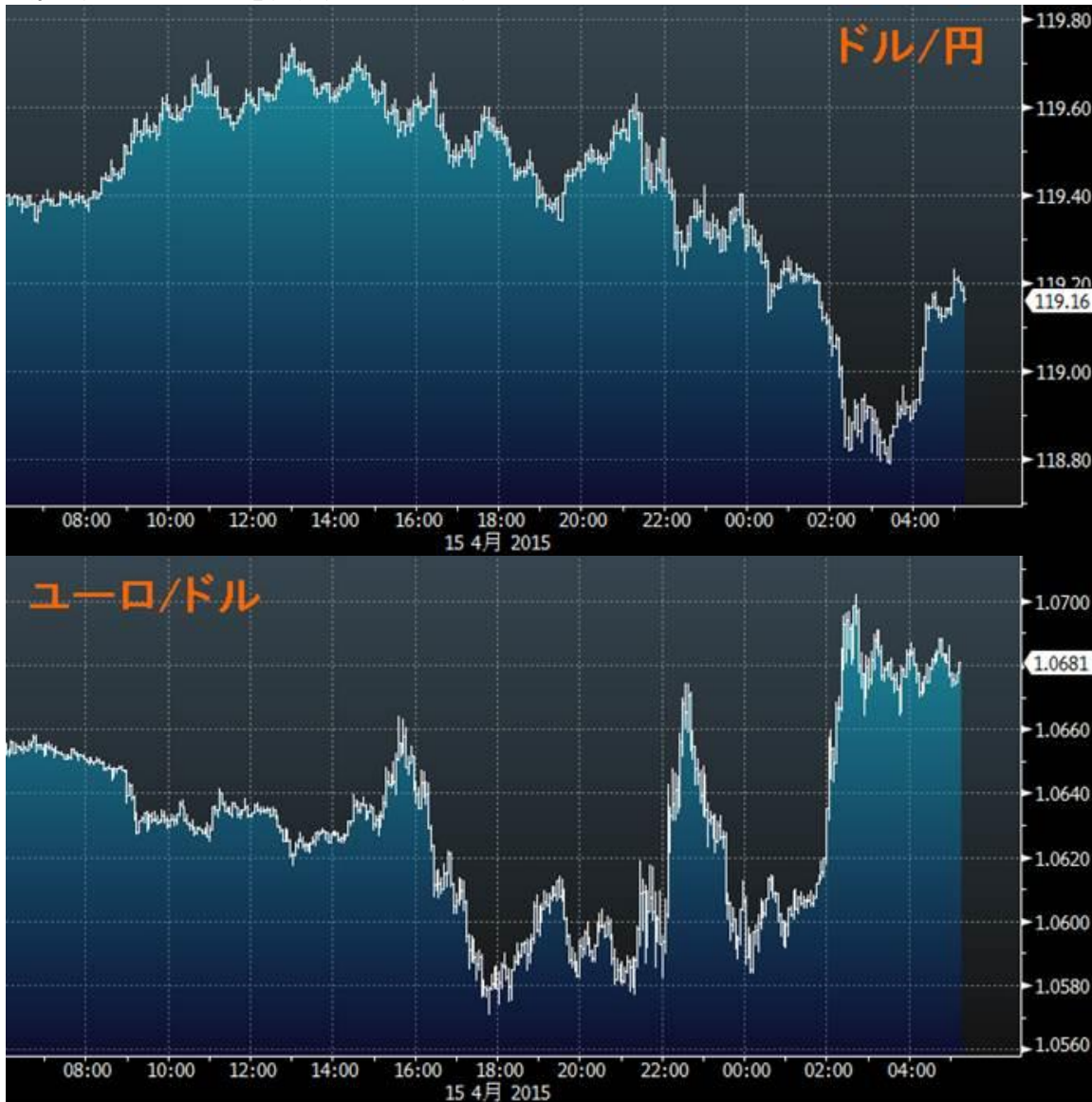
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	119.15	119.64	118.80
EUR/JPY	127.31	127.33	126.28
GBP/JPY	176.78	176.96	176.02
AUD/JPY	91.46	91.51	90.68
NZD/JPY	90.49	90.54	89.65
EUR/USD	1.0686	1.0702	1.0577
AUD/USD	0.7677	0.7701	0.7580

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が予想を下回る結果が続いたことから、ドルが主要通貨に対して下落する動きとなった。また、円が買われる動きとなったことから、クロス円も一時軟調な動きとなった。その後は堅調な株価動向を背景に、クロス円は値を戻す動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。